

各 位

平成 21 年 10 月 9 日
 東京都港区六本木六丁目 1 番 20 号
 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 代表取締役社長 金山 精三郎
 (コード番号: 2798 東証マザーズ)
 問い合わせ先 取締役 吉田 茂
 (03-5412-0065)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 14 日に公表しました業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

【業績予想の修正】

1. 平成 22 年 2 月期 個別業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間(平成 21 年 3 月 1 日 ~ 平成 21 年 8 月 31 日) (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益 (損失)	経常利益 (損失)	四半期 純利益 (損失)	1 株当たり 四半期 純利益 (損失)
前 回 発 表 予 想 (A)	3,359	25	113	108	円 銭 4,153 81
今 回 修 正 予 想 (B)	2,930	215	129	145	円 銭 5,553 39
増 減 額 (B - A)	429	241	243	253	
増 減 率 (%)	12.8				
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期第 2 四半期)	3,428	74	10	3	円 銭 144 47

(2) 通期(平成 21 年 3 月 1 日 ~ 平成 22 年 2 月 28 日) (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益 (損失)	経常利益 (損失)	当期 純利益 (損失)	1 株当たり 当期純利益 (損失)
前 回 発 表 予 想 (A)	6,667	93	178	167	円 銭 6,401 29
今 回 修 正 予 想 (B)	5,680	273	200	227	円 銭 8,718 32
増 減 額 (B - A)	987	366	378	395	
増 減 率 (%)	14.8				
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期通期)	6,616	224	139	365	円 銭 13,987 07

2. 平成22年2月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日～平成21年8月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益 (損失)	経常利益 (損失)	四半期 純利益 (損失)	1株当たり 四半期 純利益 (損失)
前回発表予想(A)	7,914	151	144	18	円 銭 691 41
今回修正予想(B)	7,558	86	92	256	円 銭 9,819 41
増減額(B-A)	355	238	237	274	
増減率(%)	4.5				
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期第2四半期)	6,688	30	23	70	円 銭 2,682 49

(2) 通期(平成21年3月1日～平成22年2月28日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益 (損失)	経常利益 (損失)	当期 純利益 (損失)	1株当たり 当期純利益 (損失)
前回発表予想(A)	16,174	425	412	166	円 銭 6,355 23
今回修正予想(B)	15,020	46	64	280	円 銭 10,730 09
増減額(B-A)	1,154	378	348	446	
増減率(%)	7.1	89.0	84.5		
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期通期)	14,087	49	76	433	円 銭 16,584 60

3. 修正の理由

<個別>

(1) 第2四半期累計期間(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

売上高は2,930百万円(前回予想比12.8%減少)、営業損失は215百万円(前回予想営業利益25百万円)、経常損失は129百万円(前回予想経常利益113百万円)、四半期純損失は145百万円(前回予想四半期純利益108百万円)となる見込みであります。

個別の第2四半期累計期間の業績につきましては、高級レストラン「XEX」を中心に既存店の売上高が低調に推移し当初予算を下回ったこと、平成21年3月にオープンしました「炭火焼肉An」の業績が予想を大幅に下回ったことに加え、同店舗の出店コストの負担増加等の影響から、営業損失は215百万円となる見込みであります。また当上期には子会社からの受取配当金89百万円の計上等があったため経常損失は129百万円を見込んでおり、法人税等を控除した四半期純損失は145百万円となる見込みであります。

(2) 通期(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

売上高は5,680百万円(前回予想比14.8%減少)、営業損失は273百万円(前回予想営業利益93百万円)、経常損失200百万円(前回予想経常利益178百万円)、当期純損失は227百万円(前回予想当期純利益167百万円)となる見込みであります。

通期においては、当上期の業績予想及び下期以降の当社を取り巻く外部環境を考慮し、業績予想を修正するものであります。当社個別の損益は、例年下期12月度の売上・利益がピークとして推移する一方で、下期以降の既存店の販売強化と本社費及び仕入原価等の店舗コストの削減効果を考慮しつつ当上期の既存店の販売状況等を加味して下期予算の見直しを行なった結果、通期の個別業績予想を修正するものであります。

< 連結 >

(1) 第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

売上高は7,558百万円(前回予想比4.5%減少)、営業損失は86百万円(前回予想営業利益151百万円)、経常損失は92百万円(前回予想経常利益144百万円)、四半期純損失は256百万円(前回予想四半期純利益18百万円)となる見込みであります。

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、カジュアルレストラン「PIZZA SALVATORE CUOMO」を展開する(株)SALVATORE CUOMO JAPANと施設管理事業を展開するタカラビルメン(株)及び第一ビルサービス(株)が予算を上回っているものの、当社個別の要因に加え、中華レストランを展開する(株)CRYSTAL JADE JAPANの予算未達の影響及び上海に大型複合レストランを展開する和伊授桌餐飲管理(上海)有限公司の予算未達の影響を考慮し、営業損失は86百万円、経常損失は92百万円の計上を見込んでおります。なお、税引前四半期純利益から法人税等147百万円を控除した四半期純損失は256百万円となる見込みであります。

(2) 通期(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

売上高は15,020百万円(前回予想比7.1%減少)、営業利益は46百万円(前回予想比89.0%減少)、経常利益は64百万円(前回予想比84.5%減少)、当期純損失は280百万円(前回予想当期純利益166百万円)となる見込みであります。

通期においては、当上期の業績予想及び下期以降の当社グループを取り巻く外部環境を考慮し、業績予想を修正するものであります。タカラビルメン(株)の受注状況や(株)SALVATORE CUOMO JAPANの新規出店予定及び既存店の状況等を踏まえ両社の下期予算を上方修正するものの、当社個別の要因と(株)CRYSTAL JADE JAPAN及び和伊授桌餐飲管理(上海)有限公司の減収減益要因を反映させた結果、連結業績予想を修正するものであります。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

【配当予想の修正】

1. 配当予想修正の理由

当社は、業績の見通し、新規出店、新業態の開発等の資金確保のための内部留保の充実等を勘案しながら、安定的かつ継続的に利益配当を実施することを基本方針としておりますが、当期は当期純損失の計上となる見込みであります。当期の業績の状況や事業環境等を総合的に考慮した結果、平成22年2月期の配当金につきましては、誠に遺憾ながら期末の1株当たり配当金予想額を無配とさせていただくことといたしました。

2. 修正の内容

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (平成21年4月14日発表)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
		0		1,000 00	1,000 00
今回修正予想				0	0
当期実績		0			
前期(平成21年2月期)実績		0		0	0

以上